

## 令和2年度 山都町の事務事業活動に係る温室効果ガス排出量

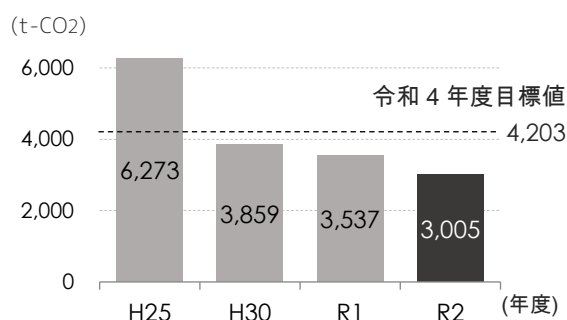
山都町では、温室効果ガス排出削減に取り組むべく、山都町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を平成29年度に策定しました。

本計画では、町の事務事業活動に伴う温室効果ガス排出量を、令和4年度において平成25年度比で33%減少させることを目標にしています。

令和元～2年度は、環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金「地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業」の採択を受け、清和支所及び蘇陽総合行政センターの照明・空調設備を環境にやさしい省エネ設備に改修しました。この改修により、年間105.8tのCO<sub>2</sub>排出量の削減が期待されます(約38世帯分の年間CO<sub>2</sub>排出量に相当)。

### ■ 温室効果ガス総排出量の推移

令和2年度の事務事業活動に伴う温室効果ガス総排出量は、二酸化炭素換算で約3,005 t-CO<sub>2</sub>でした。基準年度である平成25年度と比較して約52%、令和元年度と比較して約15%減少しました。



[ 山都町温室効果ガス排出量の推移 ]

減少の主な要因としては、設備機器の高効率化によるエネルギー使用量減、再生可能エネルギーの普及に伴った電力排出係数の減少などが考えられます。

すでに令和4年度の目標値を達成していますが、今後も目標値達成を維持できるように、環境配慮の取り組み等を推進していきます。

### ■ 令和2年度 温室効果ガス総排出量に占めるエネルギー種別の割合

令和2年度の温室効果ガス排出量は、エネルギー種別にみると電気・灯油が全体の9割を占め、なかでも電気は全体の7割を占めています。電気使用量に占める割合の高い空調・照明機器の省エネを推進することにより、より大きな削減効果が見込まれると考えられます。

その他1%の内訳にはガソリン（公用車以外）、軽油（公用車）等が含まれます。

